



TITLE:

表紙・学会記事・「経済論叢」「調査と研究」執筆要領(抄)・執筆者紹介

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・学会記事・「経済論叢」「調査と研究」執筆要領(抄)・執筆者紹介. 経済論叢 2005, 175(2)

ISSUE DATE:

2005-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/66263>

RIGHT:

# 經濟論叢

第 175 卷 第 2 号

---

産業融合と企業結合……………	下 谷 政 弘	1
負債契約の再編成が 資本構成に与える影響 (1) ……	川 上 高 志	21
消費によるアイデンティティの 形成と現代的諸問題 (2) ……	玉 置 了	39
商業発展と公債累増 (2) ……	森 直 人	53
実質金利・名目金利・インフレリスクプレミアム……	内 山 朋 規	69

学 会 記 事

---

平成17年 2 月

京 都 大 学 經 済 學 會

## 京都大学経済学会規則（抜萃）

### 目的及び事業

- 第3条 本会は、経済学・経営学に関する研究・教育の振興と、その成果の普及を図り、京都大学大学院経済学研究科・経済学部発展に寄与することを目的とする。
- 第4条 本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。
1. 機関誌「経済論叢」を発行すること。「経済論叢」は毎月1回発行すること。ただし、臨時特別号を発行することがある。
  2. 「経済学研究叢書」を発行すること。
  3. 学術研究会を開催すること。
  4. 公開講演会を開催すること。
  5. その他本会の目的を達成するために必要な事業。

### 構成

- 第5条 本会は、次の会員をもって組織する。
1. 正会員
    - (一) 京都大学大学院経済学研究科教授、助教授、講師、助手及び経済学部出身者。
    - (二) 京都大学大学院経済学研究科学生及び同研究科出身者。
    - (三) 評議員会にてとくに認めたもの。
  2. 学生会員 京都大学経済学部学生。
  3. 賛助会員 本会の事業を賛助するもの。
- 第6条 前条のほか所定の会費を納めて「経済論叢」の配布を受ける個人及び団体は購読会員とする。
- 第7条 特別の場合に限り、前2条に定められた会員以外のものにも会員に準ずる取扱いをすることができる。
- 第8条 会員には、「経済論叢」を配布する。ただし、臨時特別号はこの限りでない。

### 会費

- 第10条 会員は、次の会費を納めなければならない。
- |         |              |         |            |
|---------|--------------|---------|------------|
| 1. 正会員  | 年額 10,000円   | 2. 学生会員 | 年額 10,000円 |
| 3. 賛助会員 | 年額 10,000円以上 | 4. 購読会員 | 年額 10,000円 |

## — 既 刊 目 次 —

### 第175巻 第1号

東アジアの輸出主導型成長と為替体制（2）	宇 仁 宏 幸 宋 梁 峻 豪
企業再生を考慮した構造モデルによる 倒産確率の推定	菅 野 正 泰
特許プールと電球産業統制	西 村 成 弘
焼酎市場における輸入焼酎の マーケティング戦略（1）	李 昊 泰
貸し手責任の偶発債務に対する役割	小 林 磨 美

## 【学会記事】

## 櫻井通晴教授会計学特別セミナー

2004年1月23日(金)、午後2時30分から専修大学経営学部の櫻井通晴教授(商学博士)を京都大学へお招きして、「バランスト・スコアカードの最新事情」という題目で講演していただいた。

櫻井教授は、原価計算論および管理会計論に関するわが国における屈指の研究者の一人であり、すでに多数の著作を公刊しておられる。例えば、『CIM 構築 企業環境の変化と管理会計』(同文館, 1991年), 『Integrated Cost Management』(Productivity Press, 1996), 『新版 間接費の管理—ABC/ABM による効果性重視の経営』(中央経済社, 1998年), 『ABC の基礎とケーススタディ』(東洋経済新報社, 2000年), 『ソフトウェア管理会計』(白桃書房, 2001年), 『バランスト・スコアカード』(同文館, 2003年), 『管理会計第3版』(同文館, 2004年)などである。櫻井氏は、つねにアメリカ管理会計研究の動向に注目され、いち早くそれらを日本に紹介・導入するという姿勢を貫かれてきた。活動基準原価計算(ABC)やバランスト・スコアカード(以下、BSCという)などがそれである。今回の会計学特別セミナーでは、BSCの最新事情を講演していただいた。

セミナー参加者の中に大学院生が多かったことから、特に大学院生向けにご自分の経験を踏まえながら、研究者となるための心構えや要件などに触れられた上で、講演は、以下のような内容で行われた。

#### 1. なぜバランスト・スコアカードか

経済の低迷と競争の激化、グローバリゼーション進展、不良債権処理と間接金融からエクイティ・ファイナンスへという資本調達法の変化などにより、企業価値創造の必要性が大きくなった。企業価値創造のために、BSCはマネジメント・システムとして有効である。BSCは戦略を実行するシステム、業績評価のシステム、経営品質向上のツールという機能を持っているとして、以下、具体的に説明された。

#### 2. 戦略実行とバランスト・スコアカード

BSCは、財務の視点、顧客の視点、内部ビジネスプロセスの視点、学習と成長の視点という4つの視点から戦略をビジネスユニットに落とし込むシステムである。BSCを作成する際には、戦略マップが重要である。

### 3. 業績評価とバランス・スコアカード

BSC によれば、① 企業価値の創造の可視的・総合的な把握、② 効率指向の指標として EVA（経済的付加価値）や ROI（資本利益率）の利用、③ 成果連動型の評価が可能であるとされた。

### 4. 経営品質向上とバランス・スコアカード

日本企業の多くで実践されている方針管理と対比されながら、BSC は経営品質向上の方策となることを強調された。

### 5. バランス・スコアカードのケーススタディ

セミナーは、パワー・ポイントを使って行われたが、同時に参加者には同じ内容の資料が配布された。櫻井氏は豊かな学識と熟達した話術によって BSC の最新事情を聞き手の興味を誘うように講演された。本学および他大学の学生、院生、教官およそ 20 名がセミナーに参加し、途中、留学生（院生）との間で英語での質疑応答があるなど、活発な議論を行って午後 5 時 30 分頃閉会した。学生や院生はもとより、教官にも有意義な講演であった。櫻井教授の今後のさらなるご活躍を期待する次第である。

(上總康行)

## 「経済論叢」「調査と研究」執筆要領（抄）

1998年6月

京都大学経済学会編集委員会

1. 本学会の正会員は投稿することができる。執筆者が2名以上の場合は、少なくとも1名は正会員でなければならない。
2. 本学会評議員以外の正会員の投稿原稿については、編集委員会にて審査を行い掲載の採否を決定するが、必要に応じて執筆者にリライトを求めることがある。
3. 掲載された論文等の著作権は原則として本学会に帰属するものとする。他の出版物にその一部、または全てを転載する場合には、著者はその旨を本学会に連絡し、既に本誌に掲載されたことを明示すること。
4. 投稿者は投稿原稿を提出する際、学会事務局に備えてある「論文提出明細書」を記入して添付すること。
5. 投稿者は原則として本執筆要領にもとづいて投稿すること。
6. 原稿は横書きとし、完全原稿であること。手書き原稿の場合は学会所定の原稿用紙を用い、ワープロ原稿の場合はフロピィとプリントアウトした原稿を3部提出すること。ワープロ原稿はテキストファイルとし、利用したOS、ソフト名を明記すること。
7. 投稿原稿にはタイトルと氏名、英文タイトルを記入した表紙を付けること。
8. 原稿の制限枚数は下記のようにする。

「経済論叢」 論文：200字詰原稿用紙85枚以内、ワープロ原稿17,000字以内。

研究ノート：200字詰原稿用紙60枚以内、ワープロ原稿12,000字以内。

書評：200字詰原稿用紙40枚以内、ワープロ原稿8,000字以内。

図版および表は1枚400字（原稿用紙2枚）に換算する。

「調査と研究」は論文、研究ノート、調査、サーベイ等全てを200字詰原稿用紙170枚以内、ワープロ原稿34,000字以内とする。図版および表は1枚400字（原稿用紙2枚）に換算する。

9. 論文の執筆には原則として現代かなづかい、常用漢字を用いること。

## 執筆者紹介 (掲載順)

下谷政弘	京都大学大学院経済学研究科教授
川上高志	京都大学大学院経済学研究科学生
玉置了	京都大学大学院経済学研究科学生
森直人	京都大学大学院経済学研究科学生
内山朋規	京都大学大学院経済学研究科学生

会員各位へ 会費は下記あて御納入下さるようお願いいたします。

1. 会費納入先 京都市左京区吉田本町 京都大学経済学部内  
京 都 大 学 経 済 学 会  
振替口座01090-6-17219番

1. 会費年額 10,000円 (前納)  
1. 会員各位の現住所、氏名、卒業年次、就職先を学会まで御通知下さい。  
※ 会員外の雑誌購入は有斐閣へお申込み下さい。

平成17年1月25日印刷  
平成17年2月1日発行

編集兼  
発行人

京 都 大 学 経 済 学 会

印刷所

内 外 印 刷 株 式 会 社  
京都市南区吉祥院池田南町13

発行所

京 都 大 学 経 済 学 会  
606-8501 京 都 市 左 京 区 吉 田 本 町  
振替口座01090-6-17219番

発売所

株 式 会 社 有 斐 閣  
101-0051 東 京 都 千 代 田 区 神 田 神 保 町 2-17  
京都支店 606-8225 左 京 区 田 中 門 前 町 44

ISSN 0013-0273

# Keizai-Ronso

(THE ECONOMIC REVIEW)

Vol. 175, No. 2

February 2005

## CONTENTS

Industrial Fusion and Corporate Integration..... *Masahiro SHIMOTANI*

The Effect of Debt Reorganization on  
Capital Structure (1) ..... *Takashi KAWAKAMI*

Some Problems in Modern Consumption and  
Identity Formation (2) ..... *Satoru TAMAKI*

Progress of Commerce and Expansion of Public Credit (2)  
—The Two 'Natural Histories'  
in Hume's *Political Discourses*— ..... *Naohito MORI*

Real Rate, Nominal Rate and  
the Inflation Risk Premium ..... *Tomonori UCHIYAMA*

Published

by

**KYOTO DAIGAKU KEIZAIGAKU-KAI**

(KYOTO UNIVERSITY ECONOMIC SOCIETY)

雑誌 03521-2

定価 670円

本体 638円

経  
済  
論  
叢  
  
平  
成  
一  
七  
年  
一  
月  
一  
日  
発  
行